

松尾地区地域審議会 会議録

会議の名称	第3回松尾地区地域審議会	
開催日時	平成18年11月16日(木)	午後1時00分 開会 午後3時20分 閉会
開催場所	松尾ふれあい館 2階 農事研修室	
議長氏名	佐瀬 孝一	
出席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
欠席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
事務局氏名	別添出欠者名簿のとおり	
会議事項	<p>議題</p> <p>(1)市長に具申する事項の協議 JR松尾駅の利便性の向上について 成田国際空港対策について 地域性を活かした企業の誘致について</p> <p>(2)その他</p>	<p>会議結果</p> <p>(1)3項目について、意見書を提出することに決定</p> <p>(2)今後、農業の活性化について、協議することに決定</p>
会議の経過	別添会議経過のとおり	
会議資料	「次第」「JR東日本千葉支社との協議経過」「シャトルバスの利用状況等」「山武市航空機騒音対策事業費交付金交付要綱」「山武市成田国際空港民家防音家屋の冷暖房設備維持管理補助金交付要綱」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署名委員	
平成19年1月22日	花澤 政芳	
	秋庭 啓子	

松尾支所総務課長	事務局の総務課長の増田です。よろしくお願いします。
企画政策課副主査	お疲れさまです。企画政策課の越川でございます。よろしくお願いいたします。
空港対策室長	ご苦労さまでございます。空港対策室の秋葉でございます。読んで字のごとく、成田空港の空港対策にかかわる諸施策をとり行っております。よろしくお願いします。
松尾支所経済環境課長	経済環境課の石橋でございます。よろしくお願いいたします。産業関係と環境整備の関係の方を担当しております。よろしくお願いいたします。
松尾支所長	ありがとうございました。
会長	<p>それでは、議事に入りますが、議長は地域審議会の設置に関する協議第8条第2項の規定によりまして、会長が会議の議長となると定められておりますので、佐瀬会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたしますを申し上げます。</p>
会長	<p>本日の会議は、地域審議会の設置に関する協議第8条第4項の規定により、委員の過半数の出席をもって成立するというふうになっております。</p>
会長	<p>したがって、本日の会議は成立いたします。</p>
会長	<p>続きまして、山武市松尾地区地域審議会運営要綱第2条の規定による会議録署名委員の2名を指名したいと思います。</p>
会長	<p>前回と同様に名簿順といたしまして、今回は花澤政芳委員さん、それから秋庭啓子委員さんをお願いしてよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>(「お願いします」の声あり)</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、お2人には後日、事務局で会議録を作成しましたら、確認後、署名をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたしますを申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、ただいまより議事に入ります。</p>
会長	<p>議題の1、市長に具申する事項の協議でございますけれども、前回の会議におきまして、当地区の審議会で重点的に審議する事項については、まず1つとしてJR松尾駅の利便性の向上について、2つ目といたしまして成田空港対策について、3つ目といたしまして地域性を活かした企業の誘致についてという3項目に決定をしております。以上の3項目につきまして、本日</p>

松尾支所総務
課長

の会議でできる限り本会の意見として取りまとめたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

では、まず初めに、議題の1の1でございます。JR松尾駅の利便性の向上についてを議題とします。

それでは、まず事務局の方から説明をいただきたいと思いません。よろしくお祈いします。

松尾地区選出の市議会議員との意見交換会及び第2回地域審議会の会議で頂戴しました主な意見です。

1つ、当面、駅南側の埋め立て等を実施して、シャトルバスがUターンできるように整備し、将来的には駅南側に改札口を設置できるようJR東日本と協議を進める。

2としまして、駅南側の埋め立て等を実施しても、駅に通じる跨線橋等が設置できなければ余り意味がない。

3としまして、駅南側にシャトルバスを入れても、改札口がなければ意味がないので、市の予算で駅南側に改札口の設置とJR東日本のOBを採用し改札業務ができないか、JR東日本と折衝してほしい。

4としまして、シャトルバスをIT保健福祉センター前を通し、駅南側にてUターンする案がありますが、現実問題として駅の構造変更をしなければ余り意味がなく中途半端なことになってしまいます。そこで、IT保健福祉センター前を通り、そのまま直進し、踏切を渡り左折し、駅前に行き、四つ角を通り、中学校の下を通り、工業団地入り口を右折し、空港道路に出る方が当面の利用価値が向上するものではないか。そのためには踏切から駅前まで、多少の道路改造は必要になると思われませんが、実現可能な計画で進めてもらいたい。

それと、JR東日本千葉支社と今までの協議の経緯ですけれども、次第の2ページ目になります。

平成14年度の15年3月3日に第1回協議、町の要望をJRに伝えたと。それと、15年に駅舎の改築、自由通路の設置。3回の協議、JR総武本線松尾駅周辺整備基礎調査を実施、基礎調査終了後、千葉支社に報告と。基礎調査業務委託料346万5,000円がかかっています。

それで、16年度に第4回会議と細かいJRとの打ち合わせで、基本設計1,567万6,500円、内訳としまして、駅が1,396万5,000円と駅前広場の設計171万1,500円。地質調査を行っています。301万2,450円。現況の測量ですけれども、361万950円。それで、基本設計終了後、千葉支社と協議を行いました。

<p>会長</p>	<p>続いて、17年度も……。これJRCとはJR東日本コンサルタントという会社です。コンサルタントと打ち合わせ、第9回の協議、10回の協議となりまして、18年度に……。今年ですね、これ。千葉支社と山武市企画政策課が協議してございます。自由通路については、総合計画策定とあわせて検討していくことを確認しました。</p> <p>次のページにいただきたいと思います。</p> <p>これはJR東日本コンサルタントと町が話をしながら、このような計画ではどうかと現在まで詰めてある計画案でございます。</p> <p>概略については以上です。</p> <p>それでは、ただいま事務局の方からJR松尾駅の利便性の向上についてのご説明があったわけでございます。今までの委員会としての協議の経過と、そしてまた行政の方の参考資料が添付されておりますので、この件につきましてご意見、ご質問がありましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>なお、先ほど支所長が申しあげましたように、議事録の作成上、質問者は挙手の上、名前を述べてからお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、よろしくお願いを申し上げます。</p>
<p>小棚委員</p>	<p>はい、どうぞ。</p> <p>この図面ですね。この第2案ということで、施設配置平面図というのがございますよね。この図面のかかれています中のシャトルバスの進入等々について、ちょっと説明お願いできますか。</p>
<p>会長 松尾支所総務課長</p>	<p>事務局、どうぞ。</p> <p>ちょっと詳しく……。私が担当していたわけじゃないのであれですけども、一応まずこの位置づけなんですけれども、これは道路としての位置づけです。このぐるっとした。それで、駐車場ですか。駐車場、そこは一般乗降口です。</p>
<p>小棚委員</p>	<p>これは跨線橋でやった場合、これはこの駐車場まで橋を渡るということなんですね。</p>
<p>松尾支所総務課長</p>	<p>そうです。</p>
<p>小棚委員 松尾支所総務課長</p>	<p>この計画図面だと。</p> <p>はい、この時点のところだと、降りところです。</p>
<p>小棚委員</p>	<p>そうすると、この跨線橋はあくまでも駅の改札口のところまで行くというと、外に跨線橋をつくるということでしょう。</p>

松尾支所総務課長	はい。
小棚委員	駐車場から。
松尾支所総務課長	はい。これは16年度に話しして、これで話がその時点はなったという。
小棚委員	そういうことですね。はい、わかりました。
花澤（政）委員	すみません、松尾の花澤です。
会長	はい、どうぞ。
花澤（政）委員	今この図面を見ていると、今の公園のお便所のところ、時計台のところに、階段の乗降口がくるということでしょうか。それとこのシャトルバスが入ってくる経路では、要するに車は前の道路の方から入ってくるということによろしいんですかね、これは。
松尾支所総務課長	道路を越してでしょうか。
花澤（政）委員	違う、違う。シャトルバスの駐車場の関係でね。IT保健福祉センターが今、この平面図の上の方にあると思うんです。そうすると、これは今の道路から入るという感じになるんですか。
松尾支所総務課長	これは平成16年度の時点では……。
花澤（政）委員	その現状の中ですね。
松尾支所総務課長	はい、そういう考えであったということです。
花澤（政）委員	わかりました。ありがとうございました。
会長	よろしいですか。
花澤（政）委員	はい。
会長	ほかにご質問。
	はい、どうぞ。
秋葉委員	秋葉です。 先日来のこの中の協議では、駅舎の改築というのは含まれていなかったように思うのですが、その件も含めて今日の会議で協議することになるのでしょうか。というのは、駅南の駐車場用地のことと跨線橋ですか、自由通路のことだけを協議するようになるのでしょうか。その点伺いたいと思います。

<p>会長 古谷（眞）委員</p>	<p style="text-align: center;">（発言する者多し）</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>古谷眞一ですけれども、余りにも内容的な話に突っ込んでいっていきましても、それよりもこのあらゆる基本調査委託料、その他のお金が使われているわけですね。ですから、このまま市が詰めていくのか、それが一番大事なの。それがあって、初めて後の設計図のうんぬんという話になるわけですから、市に対してこの要望が、松尾町のこういう皆さん方の要望として、これを一本で進めていくかということを決めるべきだと思うんです。</p>
<p>会長 小川委員</p>	<p>今、古谷委員さんのご意見ですけれども。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>委員の小川でございます。</p> <p>私としましては、今、古谷委員さんの方からの発言に賛成なんです。実は、1つの事業というものをやるには、そう簡単にはできないということは私もよくわかっていますし、1つの事業をやるには、少なくとも10年やそこらはかかるんじゃないかと。しかしながら、始めないことにはできないと。だから、ここでもってやはり要望してやると、やってもらうと、そういう要望を出して、それで初めて市がちょっと待ってくださいよというやりとりはあろうかと思えますけれども、立ち上がらないことには何もできないと。</p> <p>これは今までのいろいろな事業をやるについても、最初からお金があって、これは理想的だとか何だとか言ったって、これは始めてみないと、実際問題いつそれが執行できるかわからないので、とりあえずとにかくあそこのシャトルバスを埋め立てた場所へ入れて、そこでUターンしてやれるような形に整えてもらうと。しかしながら、そのバスも必ずしも入るとは限らないと思えますけれども、それを始めないことにはどうしようもないんじゃないかということで、先ほどの意見に加え、私はこれを計画どおりに進めてもらいたいという意見です。</p> <p>以上です。</p>
<p>古谷（眞）委員 会長 古谷（眞）委員</p>	<p>ちょっとすみません、会長。</p> <p>はい、古谷委員さん、どうぞ。</p> <p>これは我々が議員をやめてから、何かこう見ますと、平成15年ということで、我々も内容的には初耳が多いわけですけれども、それも新市になってからも17年5月それから9月と18年の</p>

<p>会長</p>	<p>5月というような形で推移しているわけですから、やるという前提だと思っんです。ですから、やはりその辺の確認を、ぴたっと松尾町の意見として、ここまでこういう形で推移しているんだから、これは実現してもらいたいと。それが一番大事だと思っますけれども。</p> <p>今、古谷委員さんの意見ですけれども、18年年度も引き続き計画にのっているということですが、これは確かに旧松尾町のこの計画は新市に引き継がれているわけですか。その辺どうなんでしょうか。</p>
<p>松尾支所長 会長</p>	<p>そうです。当然引き継がれています。</p> <p>引き継がれている。そうすれば、当審議会としても、それはなお強硬に……。強硬と言ったら言葉は悪いですが、進めてもらうという方向性を出すのが私は当然ベターじゃないかと思っますけれども、委員さん方、どうでしょうか、この辺。</p> <p>この設計の意見がどうのこうのという前に、この計画自体を進めるかどうかという問題をまず決めてもらいたいと思っますけれども。</p>
<p>周東委員</p>	<p>はい。</p> <p>この問題は6月の市議会で松尾町選出市議会議員の北田さんが質問していらっっしゃいますよね。それに対して、この市の上だけはやるよと。あとは順位によってやりますよという発言が市長さんから出ていると思っんです。それで、それを詳しく調べたいと思っんですが、議事録がまだできていないんです。要は、市長さんとか市当局の考え方は、ある程度順位へ持っていくんだよと。それだけはやってあげますよということは表明しているんです。こうしたことも考えていかないと。</p>
<p>会長 松尾支所長</p>	<p>はい。どうぞ。</p> <p>この前も私、説明したと思っんですけれども、北田議員が質問した内容といいますと、松尾の駅関係の開発をどうするんだと市長さんに言いましたら、市長さんは山武市になってから駅が3つあると。日向駅、成東駅、松尾駅があると。財政的にもその3つを一挙にやるわけにいかないと。だから、重点的に優先的に順番をつけてやらなければならないということで、答弁は常にできるかどうかわからないということです。周東さん、よろしいですか。</p>
<p>周東委員 松尾支所長</p>	<p>はい。</p> <p>そういう答弁がありました。</p> <p>それで、先日の審議会の会議の報告を各支所で市長さんに説</p>

会長
周東委員

明会をやりました。越川副主査もいますけれども、企画政策課と一緒に。そういった中で、私の方はこの3つを要望したい旨お話したら、市長さんは、やるかやらないかというよりも、松尾駅の南側が、シャトルバスを通した中でそういう駅舎に金をかけて発展性があるのかないのか、よく地域審議会の中で協議してくれと言われました。私の方は、昔から山武・長生拠点都市から始まって、IT保健福祉センターも前町長の古谷町長が駅の南側を発展させるための起爆剤、そういうことで、まずきっかけとしてあそこに持っていったんです。知っていると思うんですけども。そこから始めようという考えで始めたんです。

それがなかったら、例えばこの洗心館とかそういうことを壊して、そこにIT保健福祉センターを建設してもよかったんですけども、今までの松尾町の古谷町長体制は、駅の南側から発展させましょと、そういうことで始めたわけです。そういうことを私は椎名市長さんに言ったんですけども、その発展性が本当にあるのかないのかよく考えて、あとは地域審議会ですべてやってくれと言われました。

以上です。

周東さん、それでよろしいですか。

それが今までの常道だと思うんです。例えば今はっきり言えば、この計画は旧松尾町で始まったんでしょけれども、その前には上部団体として、この地域も千葉県が発展をするために地域をつくったんです。そのときには、松尾町が要するにどういう姿になるのかということをやったときに、この土地の再開発、要するに商店街の再開発、再構築、これをやって、そして将来のためにあその前に住宅をつくるとか、そういうことで始まったと思うんだ。

もっと簡単に言えば、聞くところによると、高校生が松尾の駅を使うのに便所が汚いと。これを何とかしてやらなければいけないぞという発想から始まって、50周年記念のときに玄関口をきれいにしようじゃないかというような発想から、それとなく考え方が変わってきているんだね。

だから、今、利便性といったって、あの駅に跨線橋をつくっても何をやって、今あその駅を使っているのは、大体古い計算で1,400人なんですね。裏口を利用する人は、大体その半分と見たって700人。それが将来ふえるかふえないかわからない。そんなものをつくってくれといったって、つくってくれる金がないです。だから、すべてはここでは何をやってもいいと。要

するに、シャトルバス。あそこへシャトルバスを通していくというのは、芝山も蓮沼の人たちもみんな考えている。そうすれば、やはり松尾駅に入って電車に乗るなり、それから松尾から今度成田空港へ行くとか、そういうのはあるんで、やはりせっかく町長が判断して、あそこへあれをつくってくれたんですから、したがって入れてほしいと思う、何とかできないかなというような考えなんでしょうね。

だから、市長さんに将来そんなところに住宅ができる計画があるのかとか何か言われたら、我々には持ちごまがないです。絶対住宅がふえるということもないし、大型店舗に來い、來いといったって、だれか來ますか。そんな人は來ないと思うんです。

それと、あの地域も反対している人が多いんじゃないですか。あんなところにそれだけのあれはできないということですね。しかし、一応現在の行政としては、あそこへ家をつくる、ロータリーをつくるという話はできたんだから、これを有効にすることを考えるということが必要じゃないかと思うんです。

これは将来はやはり成田空港と松尾がつながるといふ。これは一つの線になりますけれども、必ずあのバスは……。いずれは変わるといふけれども、しかしそんな大きなことは望めないとはいいます。

そこで、橋上駅の跨線橋、ただ人間が渡るだけの跨線橋が3億から4億ぐらいかかると。あんなところ、こう上がって歩いておいて、歩いて、また駅へ行って、上がっておいて、これじゃ……。年寄りはそのような器用なことできないですよ。それだったら橋上駅をつくってもしょうがないんです。橋上駅なんていうのは、あの駅がなくならなければ無理だよ。国鉄なんていうのはそんなものだからね。

私も注意して見ていたんだけれども、それと同じことが八日市場の駅にも橋上駅ができて。同じ橋上駅、自由通路ができるけれども、裏口はできなかった。なぜ裏口ができないかといったら、要するに人件費が一番問題だからと。だから、人件費を負担すれば、恐らくできるんだろうと思うんですけれども。

だから、本当に申しわけないんだけれども、古谷さんなんか回っていったらいいんじゃないかと。それは回っていったらいいかもしれないけれども、そうすると今まで皆さんに骨を折ってつくってもらったあの埋め立てがパアになっちゃう。それじゃちょっと申しわけないから、こちらに回すということはち

	<p>よっと考えにくいんじゃないかと思うんです。</p> <p>そうしたら、どうしたらいいか。何とか……。市の金で大した金じゃないんだから、市の管財人から言わせると、700人か800人の市民の利便性を考えて、500万円とか投下してくれというのは許されるんじゃないかと思うんです。だから、少しの交渉をしてほしいということの話ができるようになるのが一番いいんじゃないかと思うんですけれども。</p>
<p>会長</p>	<p>周東委員さんのご意見ですけれども、ほかにご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>はい、どうぞ。</p> <p>秋葉です。</p>
	<p>今のお話の内容は、駅南の埋立て用地をこの際だから埋め立ててもらっておけばいいんじゃないかと、簡単に言えばそういうことでしょうか。</p>
<p>周東委員</p>	<p>そういうことです。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>周東委員</p>	<p>埋め立てはやってもらっておけと。</p>
<p>周東委員</p>	<p>やってくださるって言っているんだもの。それを断る理由はない。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>これまでいろいろ町の段階でも骨を折ってここまできて、予算もついたわけですよ。埋め立て予算というのが。</p>
<p>周東委員</p>	<p>ここをやらないといたら、相手に失礼だよ。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>私もそう思うようになっているんです。それで、ただ埋め立てだけをしてほしいという要望をすること、次の段階で、例えば橋上駅にしても、実現不可能なこととしても、一応将来を見据えてこういうことを地元住民として思っているんだという思いを込めた方が埋め立てもスムーズにいくんじゃないかと、なお早く埋め立ててもらえるんじゃないかという思いがあるんですが。それは私の意見として。</p>
<p>周東委員</p>	<p>それで、実際のバスの運行はまた別のことになるかもしれませんが、1つはやはり地域審議会のプランとしては、要望としては、こういう形だからぜひ埋め立てが欲しいんだと。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>そういう用地に車が入るような形にしてほしいんだという要望をした方がいいんじゃないかと思っているんです。いかがでしょうか。</p>
<p>周東委員</p>	<p>以上です。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>そのほかございませんでしょうか。</p>
<p>周東委員</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>

副会長	<p>ちょっと2件ばかりお伺いしたいんですけども、この協議事項につきまして、平成15年の3月に第1回協議会を開いておりますけれども、この協議会というのは何の協議会ですか。平成15年の3月3日に第1回協議会、町の要望事項を提出というのは、この協議会というのは何の協議会ですか。</p>
松尾支所長	<p>協議会って、これは話を聞いたんですが、JR東日本との協議です。</p>
副会長	<p>そうですか。そうすると、その中に町の要望書を提案ということでございますので、町がどういう理由でそこに橋上駅の整備をしたいかという基本的な目的は述べられているわけですよ。そういうことですよ。それに基づいて、平成18年、これは合併後ですけども、市とJRが協議したということは、その事業そのものについて市へ引き継いだという考え方でよろしいんですか。</p>
松尾支所長	<p>はい、そうです。</p>
副会長	<p>引き継いでいると。そういうことになれば、つくる、つくらないは別問題として、考え方とすれば、それをつくる方向でバックアップするという方向づけでいいんですかね。</p>
松尾支所長	<p>それでいいんじゃないですかね。</p>
副会長	<p>そういうことでいいんですか。 そうすれば、つくる、つくらないは別問題として、合併前にそういう協議事項を行って、町の方から市の方へ引き継ぎ事項。今回また総合計画へのせるかのせないかの問題がございますけれども、一応合併の前提の中で、そういうものをつくってもらいたいということで市の方へ引き継いだわけですから、市長さんは、それはいろいろ財政上の問題があって、すぐ、はい、つくりましょうという即答はできないかもしれませんが、松尾町とすれば、合併前に基本的にはこれをつくっていただきたいという引き継ぎ事項ができていますよね。そう考えていいんですか。</p>
松尾支所長	<p>はい、そういうことです。合併前に松尾町の企画課でやったことを新市の企画課に書類等を含め、すべて引き継いであります。</p>
副会長	<p>わかりました。 参考に、この町の要望書、提案書をちょっと後で見させていただきたいと思います。この第1回の協議事項で町の要望書、これどこへ、JRへ出したんですか。</p>
松尾支所長	<p>そうです。</p>

副会長	その要望書の趣旨を後でちょっと参考に見させていただきたいと。
会長	以上でございます。
周東委員	ありがとうございます。 周東委員さん、どうぞ。
企画政策課副主査	企画課で協議なされたそうですけれども、どういうふうなことを協議なされたのか、どういう話をなされたのか、差し支えなければ教えていただきたいんです。 企画政策課の越川でございます。 18年5月8日に協議を行ったと記させてもらっておりますが、これは端的に言いますと、松尾町から新市に引き継いで、その後の書類、この経緯をもって顔合わせという格好だったんです。今度は山武市で企画政策課、課長とあと係長がいたところがありますが、我々が今度は引き継ぎましたよと。今後、橋上駅、自由通路ということまでどうしようかと。実は図面等に載っているんですけども、全然JRの方がコンセンサス、同意を得ているわけでもありませんし、ちょっと図面的に自由通路を載せてあって、じゃ後はどうしましょうかと。これから山武市では地域審議会の委員さんたちにもご意見をいただきながら、総合計画の中で計画をつくっていくと。その中で検討していくと、この程度のお話しかしていなかったと。私はちょっと直接行かなかったんですが。
会長	以上でございます。 ほかにご意見ございますか。
古谷（真）委員	はい。
会長	先ほど副会長さんが言ったような格好で、その再確認だということを進めてもいいんじゃないですか。 それでは、いろいろご意見が出ておりますけれども、この資料にございますように、基本調査委託料から基本設計まで、旧松尾町で2,500万円ほどもう投資してあるわけですね。そういう中で、松尾町議会もそれを議決してあるわけです。この方向でいこうよという方向性はもう出ているというふうに確認していますし、また今、奥田副会長さんの方からもご指摘がございましたように、これは新市に引き継がれているというのも今確認させていただきましたので、我々地域審議会といたしましても、この計画をバックアップして、市長に強力に申し出ていくという方向で審議会を進めてよろしいでしょうか。 (「はい」の声あり)

古谷（正）委員	<p>ちょっといいですか。</p>
会長	<p>はい。どうぞ。</p>
古谷（正）委員	<p>すみません、古谷正三郎です。</p>
会長	<p>基本的な話としてよくわかります。ということは、駅舎の南側口をつくるとか、そういう形と、何と言ったらいいんだろう、シャトルバスの走る道を別に考えればいいということになるんですね。それは全部リンクしちゃうんですか。あそこにロータリーができれば、必ずそこに入って……。どういうふうに考えたらいいんですか。そこをちょっと。</p>
古谷（正）委員	<p>今私が確認させてもらったのは、いわゆるこの基礎調査から基本設計に至るまでの経緯の中で、このシャトルバスのUターンをここに作るということですので、空港道路からここに入って、それでUターンするということですので、古谷委員さんがこの前ちょっとお話ございました道を拡張して、それから工業団地の方を抜けるというものを想定しない中での要望になるうかと思えます。</p>
古谷（正）委員	<p>では、シャトルバスの実質的な有効性を……、何というのか、シャトルバスが入ってくるということを確認せずして、まず開発から入ってということが先になるということですね。</p> <p>私の意見は、あくまでもシャトルバスが通ることによって、松尾駅の利用者がふえるであろうということを中心に話をしておりますので、多少その辺のニュアンスが違っちゃうんですけども。</p>
松尾支所長	<p>だから、どう理解していいのかな。あくまでももう基本設計で、これだけ投資しているから、これでやらなければまずいよということならば、それはそれで仕方ないんですけども、どうしてもあっち側を活性化したいんなら、逆に言えば、もう町で買っちゃっている土地を分譲したっていいぐらいの気持ちで話を進める方が早いんじゃないかなと思っちゃうんですけども。極論すればですが。</p>
松尾支所長	<p>いいですか、今のこと。</p>
会長	<p>はい。</p>
松尾支所長	<p>合併前に、シャトルバスはたしか13年の4月から走っているんですけども、その計画の中身は、松尾は駅にとまりましょう、芝山は仁王尊に寄ってください、横芝はこっちの空港道路を通して意味ないから、大総新道を通ってくださいますといういろいろな意見が出ました。そういった中で、あの当時は実川町長とか</p>

<p>会長 周東委員</p>	<p>うちの古谷町長などで話した中は、空港へ来るのにそんないろいろなところを通っていたら時間がかかり過ぎちゃって、便も逆に悪くなって、乗る人も減っちゃうんじゃないかという考えがいろいろあったんです。そういうことで、とりあえずは一直線に時間を速くいきましょうということで、この今現在の状況になっているわけです。</p> <p>松尾駅に乗り入れの話もあったのは、大型バスなもので、すぐには入れなかったんです。ですから、とりあえずそれで走りましょうということで出発したわけです。</p> <p>以上です。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>ちょっといいですか。</p>
<p>会長</p>	<p>今のバックアップというのはどういうふうにバックアップするんですか。どういう方面でバックアップするのか。例えばもう順位で決めるんでしょう。</p>
<p>周東委員 会長 副会長</p>	<p>ですから、松尾地区として最後にならないように、優先順位をまず急いで入れてくださいというような要望をするのが我々審議会の役目じゃないかと思うんです。</p> <p>だから、要望するのに理由がなければおかしいんです。</p> <p>それは奥田副会長さん言ったように、最初の……。</p>
<p>会長</p>	<p>私もそれは周東さんがおっしゃった基本的な問題は、これからスタートすると思うんです。だけれども、今ここへきて、さっき確認したんだけど、合併前に町として要望をいたしまして、市の方へ引き継いで、市もそれを協議しているわけですよ。だから、それがいいか悪いか議論すると、もうスタートからそういう話になっているわけです。だから、市が引き継いでなければ、今、周東さんがおっしゃったような議論になるかもしれませんが、それは一応上げて、市長はじゃそれを議題にのせましょうという話になっているんですから、それを原点に戻しちゃうと、またここでスタートしなければしょうがないなという印象を持って、今、質問したわけなんです。だから、市の方へ引き継いであるということだから、それはその面で町としては考えなければいけないなということを私は申し上げたわけ。</p> <p>(発言する者多し)</p> <p>そうですね、その議論は上の方でやればいいじゃないですか。事業を引き継いでいく段階で。</p> <p>市の方の判断になってきますよね。</p>

古谷（眞）委員	<p>そうしたら、乗客がどうだとか言う前に、議会としてこういうものはともかく計画を山武市に出して、山武市もそれを引き継いだわけだから、それは守っていただきたいというのが我々の考えであって、中でもって順序がどうだというようなことはその次の話だと思っんです。そんな感じはしますけれども。</p>
会長	<p>再度お願い申し上げますけれども、議事録の作成上、発言は挙手の上、名前をおっしゃってからにさせていただきたいと思っいます。よろしくお願っいたします。</p>
古谷（正）委員	<p>はい、古谷委員さん、どうぞ。 すみません、古谷です。 じゃ再確認。シャトルバスの路線変更は、南側に来るぐらいだったら路線変更は可能だということが前提でこの話になっていると思っばいいわけですね。それ以上の要望を出しちゃうと、その他の地域の要望が出てきちゃうんで難しいであろうということであれば、そういう前提があればまた話は違っんで、そういうふう理解していいんですか。</p>
松尾支所長 会長	<p>はい。 じゃそれで了解していただけますか。</p>
古谷（正）委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ほかにございませんか。 (「なし」の声あり)</p>
空港対策室長	<p>それでは、ないようですので、この件につきましては、市長の方に具申をするということで決定をさせていただきます。 それでは、続きまして議題の1の2、成田国際空港対策についてを議題とします。 事務局の説明をお願い申し上げます。 空港対策室の秋葉でございます。 マイクの方は大丈夫ですか。 それでは、レジユメの3ページから事務局の方がえらい資料の方を用意しまして、シャトルバスに関しましては8ページまでずっと関係の資料が載っております。1枚1枚説明しますと夕方5時になってしまいますので、はしりながらご説明を申し上げます。お許しいたきたいと思っいます。 先ほどのお話にもありましたとおり、このシャトルバスは平成13年の4月から運行しております。じゃ何のために運行しているんだということでございますけれども、芝山延伸鉄道を旧蓮沼村まで延ばしたいと。しかしながら、諸事情でまだかな</p>

か鉄道の計画が進んでいないと。じゃその空港南側の住民の方々、市民の方々の利便性を図るために、空港シャトルバスという名で九十九里海岸と成田空港を直結したシャトルバスを運行しようということで、6年前から運行されております。

3ページ目は、これはほとんど17年度の資料を細かくご提示申し上げましたので、3ページ目にかかわる問題としましては、じゃシャトルバスの利用客はどのぐらいなんだというようなものが掲示をされております。

このページの下の方に、利用客の日、1日どのぐらいなのかということで見てもらうと、ちょっと中段より下ですけども、約250名前後毎日利用しているというようなものが記載されております。いろいろどのぐらいの収入があるとか、利用度がどのぐらい、便の方はどのくらいだということで詳しく書いてございます。

17年度の利用客の総数としましては、一番下、欄外ですけども、枠外に利用客数は9万4,000人です。約10万人に近づいていると。平成13年の運行から見れば、大分利用客の方はふえていると。ただ、急激に伸びているということではございませんので、6年目になりまして、シャトルバスの名前の方も住民の方に浸透したと。あと、成田空港の関係で働く方並びに中学生の方が大いに利用しているというようなことで、年間10万人に近くなるほどの利用客が利用していると。収入は約1,800万円ほどであると。これを単純に割り返しますと、1人約200円ぐらいの運賃を支払っているということで、横芝ですか、屋形海岸等から出ますと、300円で成田空港まで行きます。空港道路に入りますと、片道200円で行けるということで、大変お安くなって、利用度が上がっているのではないかというふうには考えております。

皆さん方も空港道路を通ると、すごいバスが走っているんだというふうにシャトルバスを見たことがあると思いますけれども、いかんせん大型の40人乗りのバスでございますので、この利用客数を見てもらうとおわかりになるとおり、満杯ということはあり得ませんけれども、適度な方が利用して、通勤・通学並びに海外旅行への利用というようなことで利用しているというふうに思われます。

次の4ページ目を開いていただきますと、じゃどこが一番利用しているんだということで、これは一目瞭然でございます。現在3市町がかかわっております。横芝光町、山武市、芝山町。

これでこのバス停がございましたけれども、突出して一番利用しているのが松尾の五反田停留所でございます。空港道路の高架のちょっと下のところですけども、あそこに駐車場も完備してございますし、いろいろ今、先ほど話題にもありましたけれども、ちょっと遠いんですけども、松尾駅の連結にも便がいいということで、一番利用客が多いというふうなのが如実にあらわれているというふうに思われます。

もっと詳しい資料です。

次の5ページは、じゃ17年度でどのぐらい利用したのかと。乗ったりおりたりしたのが出ております。これは後でござんください。

6ページ目は、今度、横芝から出発した実績が出ております。これもやはり松尾五反田の方が一番断トツで多いということでございます。

7ページ目、これも乗降客の割合を詳しく載せてございますけれども、縦軸の真ん中の方を見ますと、やはり図面で見ると数字で見ると同じでございますので、松尾五反田停留所が乗降客の約4分の1、24.5%の利用をしているということで、これも先ほどの松尾駅の連結等を十分考えなければならぬのではないかとというふうな数字ではないかと思えます。

最後に8ページ目としましては、シャトルバスの利用収入額の推移でございます。

ござんのとおり8月が突出しておりますけれども、これはウォーターガーデンあとは海岸の夏の季節の利用客が飛び抜けているということで、あとは大体平均しますと月140万円から160万円の間を推移しているというようなことでございます。

また、運賃の方も先ほど申し上げましたとおり、200円という手軽な料金で利用できるんですけども、じゃ費用対効果はどうなのかというふうなことも皆さんお考えいただけたらと思えます。ただ単純に収入額、先ほど1,800万円と言いましたけれども、約10万人で割るというようなものでもございませんので、バスの維持費ややれ何だかんだといろいろな経費がかかります。そうしますと、1人利用するには約500円ほど費用がかかります。そのうち平均200円が運賃として支払われると。じゃあと300円はだれが出しているのかということで、もちろん市、関係町村で出しているというようなことで、割合的には6割ぐらいを市、町からの補助で運行しているというのが現実でございます。

これも、じゃ赤字だったら運賃を上げればどうだという話も

あろうかと思うんですけれども、またこれを上げれば、余りに高いと利用客が利用しないんじゃないかというようなこともあろうかと思えますけれども、そういった問題は関係の首長並びに議員さん、学識経験者等を構成員としました芝山鉄道延伸連絡協議会というものをつくって、どうするんだというようなことで、いろいろな諸問題、課題等を話し合っている場がございます。その中の一つに、先ほども問題が出ましたとおり、駅前シャトルバスの乗り入れはどうだというようなことで、これは冒頭にも支所長からありましたとおり、JRと連結するのが夢であるということを考えますと、今の南側のところにロータリーの場所をつくれれば、今現在、千葉交通が運行をやっておるんですけれども、実際問題入れるのかというような話で運行部長等にも現場を見ていただきまして、ルートのには当然可能であるというような話もいただいておりますし、協議会としても念願の松尾駅の乗り入れになるというようなことで、相思相愛で一番いいんじゃないかというふうに考えております。

また、成田空港も開港後30年近くなりまして、いろいろな交通アクセスがだんだん発展しているというのは皆様方はご存じだと思います。ご承知のとおり、平成22年には成田新高速鉄道が開業予定ということで、都心と成田空港が直結するというような時代でございます。これはもうほとんど北側のルートでございますので、南側の町村にとっては何のこともないと。しかしながら、芝山鉄道を延伸すれば、都心と成田空港を介して、あこがれの九十九里浜にも遊びに来てくれるんじゃないか、いろいろな観光にもなるんじゃないかというようなことで、一刻も早く芝山鉄道の延伸が接続されれば、空港南側の山武市としても発展性が出るというようなことが考えられます。

そういったことで、現在、代行といいますが、シャトルバスを大いに利用して、少しでも赤字を減らして、来る将来、芝山鉄道をぜひとも旧蓮沼村まで延伸するというのが望まれると思います。

しかしながら、シャトルバスにもこれから大きな課題がございます。維持管理費に大変……。どうしても大型バス2台かかりますから、維持管理費に車両のメンテ等で大分お金がかかるんじゃないかと。バスも機械物でございますので、一生動くというわけにはいきませんので、いつかは壊れるということを考えますと、バスの更新にもお金がかかると。なおかつ利用者も横ばいでは、また赤字に拍車をかけてしまうというようなこ

会長
空港対策室長

とで、その点等をいろいろクリアしながらシャトルバスを運行していくというのが現在の状況でございます。

皆様方、成田空港等をご利用なさるときには、ぜひともシャトルバスをご利用になられたらというふうに思っております。

会長さん、続けて説明しちゃっていいか。

はい、いいです。

よろしいですか。

シャトルバスにつきましては、一応ご説明を終了させていただきます。後でご質問等がございましたら、お受けいたしたいと思えます。

続きまして、9ページをごらんいただきたいと思います。

じゃ9ページは何だといいますと、これは成田国際空港株式会社、通称N A Aなんですけれども、17年度ですから、まだ旧の松尾町です。これから旧の松尾町にどのくらいの周辺……。航空機の騒音対策の一環なんですけれども、周辺対策交付金というものが来ております。皆さん松尾にお住みの方は重々承知だと思えるんですけれども、じゃどういう項目で使って町は報告しているのよということで、17年度分、旧松尾町について交付金をいただいたものはこのように使いましたよというような形で報告をさせていただいております。

いろいろ事業名等が記載されておりますけれども、ごらんいただければ大きな区分の1、2、3、4、こういう大きな区分に分けての事業に使っているということが一目瞭然の状況だと思えます。

じゃ交付金はどのくらい来ているのよということで、ちょうど事業費がございますけれども、事業費の縦軸、その隣に財源内訳として一般財源の交付金の充当額、この縦軸の総トータル、一番下を見ていただくと2億6,009万5,000円、これが旧松尾町にN A Aから交付されております。

そのうちに、じゃどういうものに使っているかというのは、縦軸の方に出ているのが数字でございます。先ほど言いましたように、1番、2番、3番、4番ごとにこのような事業に使っているというものでございます。

一番身近なものとして、上から3番目、航空機騒音障害防止対策事業交付金2,558万円、これは次に出てきます旧松尾町から各地区に、これは手薄とか、いろいろはございますけれども、差はございますけれども、総トータル的に2,558万円を地区に交付しているというようなものでございます。

また、詳しい点を知りたいという方は、帰りにお越しただければ、詳しくご説明をさせていただきます。

次に、10ページ目。

10ページ目に、じゃその2,558万円の交付金は地区のどこにどのくらい交付しているんだらうというようなことで、山室から中里まで43地区ですか。これは世帯数だけをベースにしているというものではございませんので、いろいろその中に騒音の頻度、また旧松尾町には第1種区域という特殊な地区がございます。その騒音の頻度等をいろいろ勘案しまして、ばらつきはございますけれども、一応17年度は各地区にこのように交付しているというようなことでございます。

これも後で詳しくお知りになりたいということであれば、お申し出いただきたいと思えます。

次に、11ページの山武市航空機騒音対策事業費交付金ということで、これは先ほど説明しましたこの要綱に沿いまして交付しておりますというものの裏づけでございます。

次に、12ページ目をごらんいただきたいと思えます。

これはちょっといろいろございますけれども、12ページ目、ちょっと読み上げさせていただきます。

山武市成田国際空港民家防音家屋の冷暖房設備維持管理補助金交付要綱という大変お題目の長い要綱なんですけれども、この要綱は、端的に申し上げますと、旧松尾町のときに、昭和59年から平成15年までの間、もちろん山武市ではございませんけれども、この要綱をつくりまして、第1種区域のエリア内の冷暖房機、エアコンを設置した世帯に補助金を出していたというものがベースとなっております。今現在18年ですか、それが15年でその補助金が切れまして、15で切れて、16、17と2年間補助金の方が第1種区域の方々のところには交付されておられません。その理由は何だと言われると、また30分ほどかかりますので、もしお知りになりたい方はお越しただければ、ご説明をさせていただきますが。

いかんせん山武市になって、きょう市長も申しましたとおり、お金がない、お金がないという中で、いろいろ財政部局、市長等も話をしまして、騒音直下の第1種区域のエリアの方々の苦しみをわかってくれと。周辺町村はこういう補助金を出して助成をしていますよというようなお話をしまして、19年度から復活してこの補助金を交付するというようなものでございます。ただ、いかんせん19年度の予算は3月の定例議会で議決を得な

<p>会長</p>	<p>ければ成立しませんので、その辺はちょっと不透明なところが ございますけれども、一応市の姿勢としては、19年度に一番右 側の金額によって、1台1万円、2台以上は1万5,000円、これ は旧松尾町のときの交付額でございますけれども、この交付額 を19年度から第1種区域のエアコン設置世帯の方々に補助金を 交付しますよというような要綱でございます。</p> <p>ということで、これも紆余曲折したことがございますので、 それも話をしますと長くなりますので、割愛をさせていただきます。</p> <p>本当に雑駁な説明で申しわけないんですけれども、細かい点 等がございましたら質問をいただけたらと思いますので、よろ しくお願いします。</p> <p>以上で終わりにします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局の方から説明があったわけでございますけれ ども、まず2点ほどございますので。</p> <p>まず1点目として、航空機騒音障害防止対策事業交付金及び 成田国際空港周辺対策交付金についてから質問等をお願いした いと思います。</p>
<p>小棚委員</p>	<p>はい、どうぞ。</p> <p>委員の小棚です。</p> <p>平成17年度の航空機騒音障害防止対策事業交付金のこれは、 第1種騒音区域と地域外とは、1軒当たりですか、戸数割でこ れは算定基準を出してあるわけですか。</p>
<p>空港対策室長 小棚委員 空港対策室長 会長</p>	<p>戸数割だけではないです。</p> <p>ということは、何か。</p> <p>会長、いいですか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>質問はそれですか。</p> <p>以上、まず。</p>
<p>空港対策室長 小棚委員 空港対策室長</p>	<p>世帯数割ではございません。いろいろな……。先ほどちょっ とお話ししたんですけれども、騒音の頻度。例えば小棚さんのお 住まいの新堀は……</p> <p>第1種です。</p> <p>第1種の区域内。騒音の頻度を受ける割合はもう著しいんで す。そうすると、例えば大平地区、私が住んでいるところは下 之郷なんですけれども、空港からの距離もある、ちょっと横に ずれているということで、私を1人としたら、小棚さんのとこ</p>

	<p>るは4人ほどカウントしましょうと。多くしないと頻度的に合わないんじゃないかというような調整をかけて出した金額がこれでございます。ですから、必ずしも世帯数による交付金というようなことではございません。</p> <p>一目瞭然が、約同じ世帯で四十何世帯が……。借毛六区新田が47世帯で、新堀が45世帯。金額はごらんとおり、借毛は25万3,900円、新堀は62万3,300円、これだけ約20万円ぐらいの差がございます。ということは、その中に、その交付金を算出するまでにはそういったものを加味して、十分第1種区域の方々の痛みを考慮に入れて、それで算定してはございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
<p>小棚委員 会長 小棚委員 会長 小棚委員 会長 小棚委員 会長 秋葉委員</p>	<p>はい。</p> <p>それともう1点いいですか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>この補助金、電気料ですか。</p> <p>これは今分けてやりますので。</p> <p>結構です。</p> <p>参考資料についてはよろしいですか、小棚さん。</p> <p>結構です。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>秋葉です。</p>
	<p>これは聞き及んだことなので、その確認なんですけれども、秋葉室長さんにお尋ねするんですが、今度、今の航空会社から松尾町におりてくる騒音防止対策事業交付金の本当の支給先は、騒音が非常に高い地域におりてくるものだ。それを松尾町は、ある意味公平を期すために、例えば大平とか田越の方々にもお分けするような形をとっているんだということを伺ったことがあるんですが、それは事実でしょうか。</p> <p>そういったこととご理解いただければ結構だと思います。</p> <p>N A Aから来る交付金も確かにそういったことのための... ...。N A Aの交付金の要綱に沿って町村に交付しますから、そのN A Aの交付金のベースはこういうものも考慮します、こういうのも考慮します、こういうものも考慮しますという科目がございます。その科目で交付します。</p>
<p>秋葉委員 空港対策室長 秋葉委員</p>	<p>そのエリアのことで。</p> <p>第1エリアのところにも、こういうエリアの人なりということに交付されているのは事実でございます。それを.....。</p> <p>そのエリアに交付金がおりにきてということではないんです</p>

<p>空港対策室長 秋葉委員 空港対策室長 秋葉委員 空港対策室長</p>	<p>か。 ないです。 そうではないんですか。 ないです。 町全体の……。 町全体のことを考えまして、やはり1種区域の方もうるさいけれども、大平とか松尾もかかって、1年365日、30年間騒音の苦渋をなめているわけですから、その辺は全然、1種区域の方のみのウエートをとるという……。これはその当時の首長の政策にもあると思うんですけども、そういったことで今までの大きな流れが出てきているものと思っておりますので。</p>
<p>秋葉委員 空港対策室長 秋葉委員 会長 秋葉委員</p>	<p>はい、わかりました。 ご理解ください。 はい。 秋葉委員さん、よろしいですか。 はい。 もう1点あるんですけども。</p>
<p>会長 秋葉委員</p>	<p>はい、どうぞ。 すみません。では、次のことでまた質問というか、考え方の確認なんですけれども、この交付金というのは騒音等ということになっていると思うんです。専ら騒音のことだけを考えたことなのか。私は直下というわけではないですけども、むしろ飛行機、空を飛んでいるものが落ちないという保証はないわけで、そういうことをむしろもっと重要視して、この交付金について意味づけ、位置づけをしてもらった方が、将来、山武市の中での松尾地区のこの交付金についての保持という点からいっても、それを強く出していく必要があるんじゃないかと考えているところなんです。ぜひ検討いただきたいと思います。 以上です。</p>
<p>会長 空港対策室長 会長 空港対策室長</p>	<p>事務局、その辺はよろしいですか。 貴重なご意見ありがとうございます。 では、そのほかございませんでしょうか。 事務局、私の方からちょっと1点いいですか。 今、小柳委員さんの質問の中で、いわゆる交付金の算定基準、算定基礎について、こういうものも加味されていますよという漠然としたお話でしたが、実際何と何が算出基礎になっているのか、そこら辺をきちっと教えてもらいたいと思います。 もちろん騒音の被害を受けるのは、家畜も受けませんが、</p>

	<p>人間でございますので、人間を基盤としてとらえております。その中で、先ほども申し上げましたとおり、第1種区域のエリアと1種区域エリア外の方、やはりどうしても、これは法律に基づいた線引きでございますので、当然そのエリアの方々については騒音がひどいというふうな認識を……。当然もう数字的にも裏づけとしてありますし、その1種地域を、先ほど申したように人間を4倍に考えたり、そういったものを加味する。</p> <p>詳しくは後で、もし資料を出せと言われましてら出しますけれども、主にはベースはそのベースです。そんなにあと家のつくりだとか、そういったもの等は全然考えずに、人間をベースにして考えています。</p>
<p>会長 空港対策室長 会長</p>	<p>当然そうでしょうけれども……。</p> <p>音の頻度、大きさにもよります。</p> <p>私が記憶しているには、戸数割、人口割それから騒音割、この係数を掛けたものがこの算定基準というふうに記憶しておりますけれども、今の制度はそういうふうに出していませんか。</p>
<p>空港対策室長 松尾支所長 会長 松尾支所長</p>	<p>大体そうです。</p> <p>いいですか。</p> <p>はい。</p> <p>今の件ですけれども、一番音のひどい箇所は、ちょっと今資料を持ってこなかったんですけれども、押辺、新堀、長谷、第四あたり、それで山室、蕪木ですか、上大蔵の方は、通常の世帯数の1倍なんですけれども、今言ったところでは4倍で出しております。4倍にしてあります。</p>
<p>会長 松尾支所長 会長 空港対策室長 会長 空港対策室長 会長 空港対策室長 会長</p>	<p>それは騒音割ですよ。</p> <p>そのとおりです。</p> <p>それにあと戸数割、人口割というのが入ってくるんでしょう。</p> <p>それもベースに入れます。</p> <p>そういうことですよ。</p> <p>そうです。</p> <p>この3つが算出基礎ですよ。</p> <p>おっしゃるとおりです。</p> <p>わかりました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>小川委員</p>	<p>小川でございます。</p> <p>皆さんもご存じのように、私、武野里でも横芝寄りの中里という小さな集落にいますけれども、第2滑走路ですか、今暫定滑走路の、その飛行機が中里の真上を通過して、非常に騒音がひ</p>

<p>会長 空港対策室長</p>	<p>どいわけです。特に上がる時よりもおりるとき、これも騒音は非常にひどいので、ちょうど松尾でも第2の方は中里、場合によっては下大蔵ぐらいはかかるかもしれないけれども、ちょうど私の頭の上を歩いていくわけで、先ほど秋葉委員さんの方からもお話がありましたけれども、飛行機はいつ落ちるかわからないという、そういう危険度もあります。そういう意味で、もし騒音の測定ですか、そういうことができたなら、やはり中里も対象にさせていただきたいと。</p> <p>ここに先ほどこの交付金についてもお話がありましたけれども、中里の場合は、今までだと金額は、一番騒音の程度が低かったわけですから。しかしながら、今になってみると、非常に高くなっているということですので、その辺もひとつよろしくお願いしたい。</p> <p>以上です。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>十分小川委員さんのご希望にかなうように、騒音測定等の実施も考慮に入れさせていただきます。</p> <p>また、平行滑走路ができて、谷間対策というもので、AランとBランと間、これをうまい言葉で谷間ということで、谷間対策ということで、いろいろ関係町村も現在協議しまして、いろいろな対策を講じなければ……。今おっしゃったように、Bランの滑走路で影響が出ているというようなことも考慮に入れて、今検討をしているところでございますので。だからといって、何をすぐやるのということじゃございませんけれども、いろいろそういったものを検討させていただいて、少しでも住民の方々のお役に立てればというふうに考えておりますので。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、この件に関してはほかにございませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>小棚委員</p>	<p>小棚です。</p> <p>大分この騒音にかかわる部分では、飛行機のうるささの方では、いろいろと助成金等々で交付を受けているわけですがけれども、実際に飛行機が飛んでいる場合の排気にかかわるCO₂とか、そういうのは実際に測定しているんですか。その辺ちょっとお伺いしたいんですけれども。</p>
<p>会長 空港対策室長</p>	<p>はい、事務局、どうぞ。</p> <p>小棚委員さんからのご質問にお答えさせていただきます。</p>

	<p>おっしゃるとおり、本当に排気ガス、皆さん見ると、入ってくるのはどうなっているのかなと思うんですけども、実は北進に絡みます環境調査ということで、Aラン、Bランもそうなんですけれども、地点を設けまして、大気質に関しましては調査をしてあります。北進に絡んで、その環境調査、その結果が出てきております。</p> <p>その結果はもちろん公開しますけれども、とりたてて人間には……。環境基準をオーバーしているという報告、数字的にもないというふうに出ております。</p> <p>また、NAAとしましても、定時観測地点を設けて、その地点においての大気質の調査、もちろん騒音もそうですけれども、そういった調査も行っておりまして、その結果報告も逐次関係市町に来ております。</p> <p>ですから、そういったものに数値的なものをオープンにしろということであれば、速やかに公開をさせていただいて、本当に大丈夫かというようなことをご覧いただければ、環境基準は当然クリアしているというようなことでございますので、いつでもお越しいただければ、公開をさせていただきます。</p>
<p>小榎委員 空港対策室長 小榎委員 空港対策室長</p>	<p>これは松尾にはその測定地点というのはあるんですか。</p> <p>ないです。</p> <p>どこにあるんですか。</p> <p>空港の周辺のほとんど四つ角地点です。北、南、その他、Aランの北と南。ほとんど空港周辺です。この辺まで来ますと、上は風の影響とか……。もちろんここだって風の影響はあると思うんですけども、なかなか……。こっちの方での大気質の測定はしておりません。</p>
<p>小榎委員 会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>それでは、大分時間も経過しておりますので、ここで暫時休憩したいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>5分ほどで再開したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（休憩）</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。</p> <p>続きまして、山武市成田国際空港民家防音家屋の冷暖房施設維持管理補助金交付要綱についてを議題といたします。</p> <p>先ほど説明いただきました本件について、質疑をいただきたいと思います。</p>
<p>小榎委員</p>	<p>小榎です。</p> <p>この第1種騒音区域の件数と予算額はどのくらいになるんで</p>

<p>空港対策室長</p>	<p>すか。</p> <p>第1種区域の世帯数が438戸と確認しております、その約90%の390戸以上が民家防音工事をやっております。ですから、イコール約9割の390世帯の方々を対象に、平成15年度まで交付していたものをベースに、今年度予算としましては399万円、約400万円を平成19年度の当初予算に提案するという運びになっております。</p>
<p>小棚委員 会長 小棚委員 会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>ほかに何か質問。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>岩澤委員</p>	<p>岩澤です。</p> <p>補助金が1台1万円ってありますよね。2台目以降は1万5,000円、これは旧松尾町のときの条件だと思います。それで、ほかの例えば横芝光町とか、そういう第1種区域の町村では幾らぐらい出しているんでしょうか。</p>
<p>空港対策室長</p>	<p>その前に、ちょっとお話ししますけれども、私も今からお話しする金額が余りにもちょっと旧松尾町の方々に対しては少ないんじゃないかというふうなことを考えまして、正直申し上げまして、本当は倍以上、1台2万円、2台以上4万円でしたか、3万円でしたかを要求したんです。これは正直申し上げますけれども。それで交渉しました。交渉した結果、気持ちはよくわかるけれども、今日の市長の午前中のお話にもあったとおり、じゃ旧松尾町が交付している額でどうだというようなことで、私もそうですかというようなことで、そういった話がありましたのは事実でございます。</p> <p>その中で、余り申し上げたくないんですけども、隣の芝山町は1台3万7,500円、2台以上5万2,500円、3台以上6万円、横芝光町、1台2万5,000円、2台3万5,000円、3台以上4万、多古町、1台3万円、2台4万4,000円、3台以上5万3,000円、成田市、これは論外だと思うんですけども、1台5万円、2台7万3,000円、3台以上8万8,000円。そういったことでございますけれども、お許しいただきたいと思います。</p>
<p>岩澤委員</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>多分今聞いて、皆さんびっくりしたと思うんですけども、先ほどの説明のとおり15年度で打ち切りになって、16年、17年度は私たちの地区ももらっておりません。これを説明すると30</p>

<p>空港対策室長 会長 岩澤委員 空港対策室長</p>	<p>分以上かかるということですが、簡単に説明をお願いしたいと思います。交付していない理由を。</p> <p>交付しない理由ですか。</p> <p>交付しない理由ですか。</p> <p>はい。</p> <p>当時、私、違う部局におりまして、正直申し上げまして、その経緯はわかりませんので、名代として支所長が答えるそうですので、よろしくお願いします。</p>
<p>松尾支所長</p>	<p>それでは、私の方から。</p> <p>これは昭和59年から1万円と1万5,000円というのが交付されておりました。順次本町におきましても、八角町政それから古谷町政時にいろいろな事業をやっています、一番多かったのが、奥田助役のときに松尾中学校を建設しました。それが全て13年ごろ終わったのかな。それが約50億円かかりました。そういった中で、このままいったら松尾町も財政が破綻しちゃうんじゃないかと一番懸念されました。私も当時財政課長をやっております、一応、企画課長等とも協議しました。そういった中で、当時空港公団からも補助金をもらって、例えばですけども、中里から上大蔵から小川から、全部空調機を入れました。それはご存じだと思います。そういった中で、第1種区域内もちろんのことですが、松尾町全体を平等に取り上げ、やりましょうということでやったわけです。そういった中で、お金が一番かかる時期だったものですから、とりあえず補助金のカットの協議をしました。そういった中で、一つずつ全部見直ししました。それで、とりあえずそういうところから休んでもらおうということで、議会等にも説明しましてやっていったわけです。</p> <p>合併しましたんで、じゃ元どおりにやったらどうかという考え方も出てきまして、それで19年度からまたやりましょうというふうになっております。</p> <p>ですから、以前は1万円と1万5,000円というのは、先ほど話したんですけども、近隣町村もそれだけ出しているというのは、いつから出していたというのは、ちょっと私もタッチしていませんものでしたから、わかりませんでしたけれども、とりあえず簡単に言いますと、そのような結果です。財政的に非常に厳しかったので、皆さんにお願いしたということです。</p>
<p>会長</p>	<p>以上です。</p> <p>よろしいですか。</p>

岩澤委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>それでは、山武市もこれから財政が厳しくなるという話を聞いております。そうした中で、また厳しいからその補助金を切る、そういうことはないのでしょうか。</p>
松尾支所長	<p>そういうことは私の方ではちょっと難しいものですから。</p> <p>一応市長の考えは、松尾とかその周りは、今日も話があったように特殊なところということで、その対策等には特別な配慮をするという考えでいますんで、かえって地区への交付金は、当面、最低でも4年間は減額をすることはないと思います。増額することはあるけれども。</p>
空港対策室長	<p>補足をさせていただきます。</p> <p>増額はちょっと厳しいかもわかりませんが、いずれにしても、先般の10月31日に、山武市の成田国際空港の騒音問題、いろいろな問題を協議するための委員会がございまして、その中で旧松尾町の方々から、地区に出している交付金は継続してくれるのかいと。当然、市長もおりましたので。その中で、市長は、今、支所長からも言ったとおり、旧松尾におけるその交付金については減額をすることはありませんというような明言をしました。当然4町村の住民から議員さんから学識経験者まで、全部含めて総勢20名近くの委員会がございますので、その中で市長は、旧松尾町においてのそういったものは減額いたしませんと、支所長が言ったように、そういったものは今までどおり継続しますというような話をしておりましたので、公言しましたから、そんな約束を破るということはありませんではないかと。急激な財政の変化があればどうかわかりませんが、今のところ市長はそのように話をしておりました。</p>
岩澤委員 会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいですか。</p>
岩澤委員 会長	<p>はい。</p> <p>それでは、この件に関してはほかにご意見ございませんでしょうか。</p>
秋葉委員	<p>はい、どうぞ、秋葉委員さん。</p> <p>秋葉です。</p> <p>今の秋葉室長さんのご返答の関連なんですけど、この金額というのは市長が決めるということですか。空港会社が山武市に一般交付金として入れるにしても、額自体を決めるのは、市長であり議会ということでしょうか。</p>
空港対策室長	<p>この2億6,000万円に関してですか。</p>

<p>秋葉委員 空港対策室長</p>	<p>2億円などを含めて。 平成17年度、真ん中の縦軸は2億6,009万5,000円と金額がきていますけれども、この金額は、正直申し上げましてN A Aからの交付金がほとんどで大きくなっているということです。それはなぜかといいますと、この交付金のベースが、航空機の離発着料。今、成田空港は離発着料が安くなりましたけれども、ジャンボ機で73万円ぐらいになりましたけれども、前は日本で一番高い離発着料だったんですけれども、その離発着料をベースに周辺交付金というのは交付されておりますから、それによって多少の増減はありますけれども、成田空港周辺で昨年も約40億円が交付されております。その中で旧松尾は2億6,000万円来ているというようなことで、その算定をするのはN A Aが算定します。それは……。</p>
<p>秋葉委員 空港対策室長</p>	<p>総額の額もですか。 総額の額でやって、どれぐらい配分するかと。交付金の中にも普通交付金と特別交付金がありまして、普通交付金はいろいろ対象区域のエリアを持っている町村は大変でしょう、そういったことを重みにウエートを置いていますから、松尾町は2億6,000万円、旧の蓮沼、成東松尾は、とてもじゃないけれども、2億6,000万円には足元にも及ばない。一番もらっているところで、蓮沼が3,300万円、成東町は2,600万円、山武町が1,300万円、総トータルで約3億3,000万円。山武市だけで3億3,000万円の交付金をもらっているというような状態です。そういったもののベースを算定するのは、いろいろな資料は提供しますが、N A Aからのその算定に基づいて交付するというようなこととでございます。先ほどもお話ししましたけれども、2,558万円はもう元来、旧松尾町が引き継いでいる算定基礎に基づいて交付しているというようなこととでございます。</p>
<p>秋葉委員 空港対策室長</p>	<p>それでは、その額が減らされない、ふえないということを審議するのは議会が審議するということですか。もうそれは決まった額として、2,558万円というのは、松尾の交付金充てに決まっているというふうに認識はできないわけですね。毎年議会でそれを審議するということですか。 もちろん審議いただいて、額的には多分ふえて予算要求するということはまず考えられませんので、このベースの2,558万円、蓮沼村の580万円、旧成東町に50万円程度なんですけれども、そういったものを要求して、議会の審議をいただいて交付するという段取りにはなりません。</p>

<p>秋葉委員 会長 秋葉委員 会長</p>	<p>はい、わかりました。 よろしいですか。 はい。 それでは、この件に関しましてほかにございますか。 ないようでしたら、ひとつこの2点を総括して、私の方から お願いを申し上げたいと思いますけれども、実はこの交付金で すけれども、2つとも要綱でこれは決定されております。先ほ ど岩澤委員さんの方からご指摘がございましたけれども、将来 的にも担保されるのかという危惧があるわけでございます。そ ういう中で、やはりこれは私の考えですけれども、成田空港騒 音対策事業という一つのこの上位の条文を条例としてつくって いただいて、その中でこの要綱で定めていくというふうにして いけば、よりその担保性が強いんじゃないかと思いたすけれど も、委員の皆様方、その辺どうでしょうか。そういう要望を具 申したいと思いたすけれども。条例化しようということで。</p>
<p>松尾支所長 会長 松尾支所長</p>	<p>ちょっといいですか。 はい。 条例化するものは、自治法の中でこういうものは条例化しな さいとか、こういうものは規則でいいですよとか、いろいろあ ります。そういった中で、これはどうして条例化していないか といたしますと、要綱でも十分足りるからということで、今まで そういうふうにやっておりますし、これからも要綱でも担保と しては十分足りるようなものです。</p>
<p>会長</p>	<p>ということで、あえてこれを条例化しなくても、結果的には 同じということで理解していただきたいと思いたす。 でも、この交付金だけじゃなくして、例えば成田空港に伴う いろいろな対策事業、これだけじゃない事業もまたもしかした らふえてくるかもしれませんよね。そういう中で、条例の中で また定めることもできると思うんです。条例化した方がより強 いんじゃないかと私は思うんですが、同じですか。</p>
<p>周東委員 会長 周東委員 会長 周東委員</p>	<p>いいですか。 はい、周東委員さん、どうぞ。 議長さん、その話は前に出ましたよね。 はい。 そして、奥田さんがそれは今の市議会じゃ通らないんじや ないかというような発言がありましたよね。</p>
<p>副会長 周東委員</p>	<p>通らないとは言っていないですよ。 そうですか。</p>

副会長 周東委員	通らないとは言っていないでしょう。 いや、通らないって僕はとったんだ。その後、松尾に何して、ほかから見ると……。
副会長 周東委員	通らないとは言ってません。今、支所長が言ったように、内容によって条例と規則でこういうものだといういろいろと決め方があるわけです。ただ、この条例を見ますと、議会の議決が要るわけです。そうすると、4町村の議員さんがそれを審議するわけですね。それが結果的にどうなるかということがあるんでということは私は言ったんですけども、通りませんということは言いません。
副会長 周東委員	それは言葉があれかもしれないけれども、はっきり言えば、実質的には通らないんじゃないかなというふうに感じましたよ。
副会長 周東委員	通るか通らないかはわかりません。 いや、私のあれかもしれないですけども。要綱は議会の議決が要らないわけでしょう。それで、条例というのは議決が要るわけですね。そうすると、余りにもほかのことに対しては、議員の皆さんが締めつけるものね。だから、要綱で通るなら要綱でいいじゃないかなと私は思うんですけども。余り寝た子を起こすようなことになっちゃってもというお粗末な発言なんですけれども。
会長	はい、ありがとうございました。 じゃ、この件に関しては、条例化しなくても、要綱でいった方がベターだというような解釈でよろしいでしょうか。
松尾支所長 会長	会長、いいですか。 はい。
松尾支所長	今のはなぜかといいますと、正直言って、松尾の場合は普通交付金の中で結構来ているわけですね。蓮沼は一般財源だけでそれをやっているわけです。今500万円ぐらい。そうすると、ここでの話ですけども、いろいろな兼ね合いが出てきちゃうと思うんです。何で蓮沼にそれを出しているんだよと。交付金として各蓮沼の区に。だから、そういうのがいろいろと出てきちゃうとまずいんじゃないかなと私は思っているんです。
会長 松尾支所長	そういう感じだったら、これは要綱でも出てきますよね。 いわゆるさつき室長が言ったように、騒音下だからということで今はやっているわけです。話をしているわけですから。その方がいいと私は思います。
会長	わかりました。

周東委員	<p>この問題は、よく今日は室長さんが全部これを教えてくれた。はっきり言って、今までは教えてくれなかったです。それは知らないことにしてくださいと。それから、これをすべて教えちゃうと、ほかのところに関係しますから、知って知らないふりをしてくださいというふうな話をしておられました。それはあるかもしれませんよ、そういう時期が。あうんの呼吸がね。それで、初めてここで見たわけなんです。どこへお金を使っているんですかという話をして、初めてこれが出たんです。これだけ情報公開が進んでいるとは思わなかった。</p> <p>それはやはり室長さんのあれだろうし、それから極端のことを言えば、私たちの区は共同館をつくってもらった。これは空港騒音対策費でつくっていただいたわけだ。そして、維持管理というのが、要するに交付金が来ているわけです。正直な話、あれで維持管理しているわけ。その維持管理も、飲んじゃ食っちゃいけないと言われているから、はっきり言えば余るんです。積み立てておいて、補修や何かに使っているんです。本当に感謝することなんです。これがなくなっちゃったらえらいこっちゃなど。</p> <p>大体一番かかるのは、これだけ立派な設備をつくって、クーラーを置いたから、あれが何とかかんとかといったら、冬は暖房に使う、それから冷房にして、そうするとあそこに住んでいられたんじゃ、電気代は幾らあっても足りないんだ。だから、補助金をもらったやつは、全部クーラーの電気代に消えているんです。だけれども、なくなっちゃうと困っちゃうんだけれども、非常にありがたい話なんです。これがさっきの話じゃないけれども、やはり松尾の唯一の特典といっちゃおかしいんだけれども。エゴじゃないんですよね。完全な特権なんだから、これは私は上手に使っていかなければ損だと思います。</p> <p>以上。</p>
会長	<p>そういう貴重な財源でございますので、この成田国際空港対策についてを市長に皆さんのご意見どおり具申することにご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、議題の1の3でございます。地域性を活かした企業の誘致についてを議題といたします。</p>
松尾支所総務課長	<p>事務局の方から説明をいただきたいと思います。</p> <p>じゃ、ページとしまして、13、14、15ページになります。</p>

<p>会長</p>	<p>地域性を活かした企業の誘致について。</p> <p>市の税収を上げるには、優良な企業を誘致することが一番であります。山武市の中でも、松尾町豊岡地区は成田国際空港に近く、また千葉東金有料道路の松尾横芝インターチェンジが設置されており、特に物流関連企業を誘致する上では条件が整っています。このようなことから、平成19年度中に策定される山武市総合計画に松尾町豊岡地区を物流ゾーンとして確かな位置づけをし、企業の誘致を積極的に進めるようにするものです。</p> <p>参考までですけれども、旧松尾町においても、平成14年3月に松尾町総合計画に豊岡地区の物流……。この添付されている資料なんですけれども、土地利用構想等、掲載されています。</p> <p>水色が色の関係で薄くなっちゃっていますけれども、13ページの松尾横芝インターチェンジ、この周りが薄く水色になっています。それとあと松尾台工業団地、下の松尾工業団地、ここには載っていますけれども、下大蔵、上大蔵地区の工業系市街地ゾーンと位置づけされております。</p> <p>15ページですけれども、新たな産業用地の整備として、臨空地域の工業をリードするという内容とか、インターチェンジ周辺の検討と既存工業団地の充実、幹線道路につなぐ円滑な道路ネットワークと掲載されて、また議会の承認をいただいております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、地域性を活かした企業の誘致についてでございますけれども、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いしたいと思います。</p>
<p>古谷（正）委員</p>	<p>はい、どうぞ。</p> <p>質問なんですけれども。</p> <p>古谷です。</p> <p>ちょっと簡単な質問をさせてください。</p> <p>企業の誘致ということなんですが、松尾町に来ることによって、企業が得られるメリットをどうやって知らしめるのか、または具体的に何々特区とかを設けて、それで工業、産業を誘致するのか、その辺はどのように考えたらよろしいのでしょうか。</p>
<p>会長 松尾支所長</p>	<p>はい、どうぞ。</p> <p>千葉県の方で、今、工業課は変わったのかな。昔、工業課ってありました。今ちょっと私、接触していないですけれども、合併前に工業課というのがありました。そこで、千葉県内の企</p>

<p>会長 古谷（正）委員 会長</p>	<p>業関係の工場の誘致とかそういう仕事をやっている係があります。その中で県は、昔はうちの方は企業庁に頼んでやっていたんですけども、今は県の本庁の方で、どこどこにどういう場所かあるとか、そういうのを市町村から情報を出したものを県がまとめ告示してあります。そういった中で、私の方も昔、山田ゴルフ場の方に工業団地を誘致したあれもありました。そういった中で、あとは先日、それこそ周東さんがいた鹿島建設等をお願いし、またアイテックの隣に大谷工業が所有している土地があります。そういう土地があいているところ等に企業等と折衝して、そういういろいろな質問というよりも、そういう紹介があれば、合併前まではいろいろ紹介してやっていました。</p> <p>今現在も、大谷工業のところに、ちょっと名前は忘れちゃったんですけども、企業が来まして、貸してくれというのも来まして紹介しています。</p> <p>あとは、以前は企業庁がやったころは、この工業団地2カ所あるところには、本来でしたら固定資産税の減免措置なんかをやるんですけども、旧松尾町ではやりませんでした。大きいところは、近辺では芝山とか成田の方はやっていると思います。ですから、もし来ましたら、2分の1、5年間免除とか減免とかをやった方がいいと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>いいですか。</p> <p>はい、わかりました。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>今、支所長が言ったように、いわゆる私どもとして指定したところに進出した企業、ある程度の条件を満たす企業については固定資産税の減免措置をとるとか、そういうメリッ的なものをやはり市のホームページとかそういうもので知らしめるということも一つの方法だと思います。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>秋葉です。</p> <p>豊岡地区のそうした工場用地とかを展開するについて、道路網というのが非常に大事になってくると思います。質問なんですけど、今、圏央道でしたっけ、アクアラインから茂原に抜けて東金経由で、今、東金と松尾横芝間が本線になりましたね。それから延びて、大栄の方までが……。調査期間というんですか、その進捗状況といつごろどういう形でそれが供用できるのかということがわかっていたら教えていただきたいんですけど</p>

<p>松尾支所都市 建設課長</p>	<p>も、無理でしょうか。</p> <p>都市建設課の石橋でございます。</p> <p>秋葉委員さんのご質問ですけれども、私も今資料がございません。その中で、私が知っている範囲でお話ししますと、今年度3月に、県の方から松尾に参りまして、町民の皆さん方にこんな形で計画しているという説明がございました。その中で、今お話があったように、大栄町まで東金インターの先からつなげると。今の予定は平成27年かと思いましたがけれども、今現在、環境調査等をやっている段階だと思えます。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>それで、今後土地買収にいくんでしょうけれども、その前にいろいろ手続がございまして、まだ少し時間がかかるという状況でございます。</p> <p>あと銚子の方まで……。今、旧光町までは行っておりますので、その先も今後予定されているということでございます。</p> <p>私の知っている範囲でいくと、今資料がございませんので、前もってあればパンフレットなり資料を用意いたします。</p> <p>以上、簡単ですけれども、申しわけございません。</p>
<p>松尾支所都市 建設課長</p>	<p>こちらの茂原から先はというか、アクアラインから東金までは何かもう建設予定になって、10年以内ぐらいでつくるんだと前に新聞で読んだことがあるんですが、それは。</p> <p>今その辺も着々と進んでおりまして、帰りに私の方の都市建設課の方に寄っていただきますと、その辺の資料も置いてございます。その辺でちょっと確認していただければと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>会長 秋葉委員</p>	<p>秋葉委員さん、よろしいですか。</p> <p>いいです。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほか何かご意見、ご質問ございますでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>岩澤委員</p>	<p>岩澤でございます。</p> <p>豊岡地区の工業市街化ゾーンということで指定されているんですけれども、これは例えば民間が最初に入って、この地域を開発したいといった場合と、例えば市の方で了解をつけて、漠然的じゃなくて、あるエリアを設けて、指定とかそういう区域を設定していただけるんでしょうか。</p>
<p>松尾支所長 会長</p>	<p>いいですか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>松尾支所長</p>	<p>先ほど言いましたように、松尾町の場合は企業庁が最初に来てくれたわけです。企業庁と一般の企業がそこを買って、工</p>

<p>会長</p>	<p>場を建てるのが普通なんです。あと運動公園なんかは、企業庁に買ってもらったのを町が後から買って、そこに運動公園をやったとか、そういうのが普通なんです。芝山の物流倉庫等も今のような感じでやっております。</p> <p>私ちょっと成田に聞きましたところ、成田市の場合は民間が直接やったというのが2カ所ぐらいあったそうです。それは、民間と土地所有者の間で全部承諾書をもって、用地買収して、それから道路関係とかあとは排水関係とか、うちの方だったら埋蔵文化財関係などが。</p> <p>ですから、何で先に市がやらないかといいますと、その用地交渉等が後でおかしくなるような場合もありますし、秘密の面もありますんで、そういう承諾書とか用地買収とかが終わって、こういう会社が来ますとなってから市はやった方がいいと思っています。</p> <p>以上です。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、ないようですので、ただいま協議いただきました大項3項目について、皆様の委員さん方の意見を踏まえて、意見書として調製いたしまして、市長に具申したいと思っておりますけれども、その意見書の調製に当たりまして、会長、副会長に一任をいただけませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
<p>古谷（正）委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いいですか、最後に。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。</p>
<p>古谷（正）委員</p>	<p>この企業の誘致の中に、農業関係の……。山武町にワタミとかがありますけれども、ワタミが来ているのに、農業特区だから来ているようなあれがありますけれども、そういったものも頭の中に入れていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>それでは、なるべく早目に意見書を調製いたしまして、市長に提出することといたします。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>続きまして、議題の2、その他でございますけれども、せっかくの機会でございます。何か委員さんの中でございましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>ございませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>

<p>古谷（正）委員 会長 古谷（正）委員</p>	<p>すみません、古谷です。 その他、本当に何でもいいんですか。 結構です。 私は専業として農業をやっておりますが、今、畜産とか酪農とか、いわゆる畜産業とかをやっている人は非常に経営をしづらい世の中になってしまっているという状況を垣間見ますと、新しく松尾町に住んでいる人といかにうまく生活するかという大きな問題があると思うんです。その中で何が問題かということ、当然環境問題、公害と言われる臭いの問題とか、その辺が大きな問題だと思うんですけれども、後から来た人という言い方は正しいのか、いいのかはわからないんですが、どうしても昔からやっている、そういう産業に対してクレームがついてしまうという世の中になりつつありますので、我々松尾町というか、旧松尾地区においては、そういう環境をすべて了承した上で新しく住んでくれる人には住んでもらい、すべてを受け入れてもらうというようなシステムづくりがどうにかできないのかと私は常日ごろ思っているんで、実際我々が町の中にトラクターで歩いて、砂が、泥が落ちると非常に皆さんに悪いなと思いがながらも泥を落としてしまう。それをスコップできれいにしてやれと言われれば、それはやらざるを得ないのが世の中なのかもしれませんが、実際それまで手間暇をかけるだけの手間がないというのが現状でありますから。</p>
	<p>別に我々……。こんな言い方をすると……。ざっくばらんな言い方をさせてもらえれば、別に人口がふえようと、ふえなかるうと、この地域集落において生きていく上では、私なんかはどっちでもいいんです。 だから、その中で本当に何を言いたいのかというのは、結論は、新しく来る人に地域の環境すべてを受け入れて、何もクレーム……。何もとは言わないですけれども、そんな大きなクレームをつけないというような、何か書面でも最初にもらえるようなシステムづくりが考えられないのかなと常日ごろ思っていたものですから、今ここで意見を言わせていただきました。 すみません、くだらない意見で。</p>
<p>会長</p>	<p>それじゃ、これは別に、何といたしますか、回答はいいわけですね。</p>
<p>古谷（正）委員 会長</p>	<p>いいんですけれども、何かシステムづくりを行政の方では。 それでは、この辺は経済環境課ですか。</p>

<p>松尾支所経済 環境課長</p>	<p>じゃ今ちょっと答弁がありますんで。</p> <p>すみません、経済環境課の石橋ですけれども、今、古谷委員さんからの意見ですけれども、それは大変難しいんじゃないかと。今法律もできまして、すべて受け入れたら住民になってくださいというのは、市としてもそういうのは大変難しいんじゃないかというふうに思ひまして、ある程度協力し合って、できることはしていただきたいというふうに、今指導と言ったら失礼に当たりますけれども、畜産農家の方にはそのようにお願いをしております。</p> <p>農家の方でいろいろの……。野積みはいけませんけれども、畑に堆肥を出して、すぐ速やかに埋めていただければ、それは許されておりますので、その辺のことをお願いしております、協力し合って住んでいただくしかないんじゃないかというふうに思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>以上です。</p> <p>では、そういうことで、ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>小川委員</p>	<p>はい、小川委員さん、どうぞ。</p> <p>小川です。</p> <p>古谷さんの意見に反発するわけではありませんけれども、古谷さんは今、東部土地改良の役員をやっていますよね。役員というか、総代。</p> <p>この用地を転用する場合には、条件として土地改良の役員、要するに各工区ですかの中の、何というか、意見書だとか、また特に隣接地の同意書ですか、そういうものが必要になっているわけですけれども、そのときにこういう条件ならば、それに賛成しますよ、いいですよと。私が今までやっていた経緯では、東部土地改良の総代もやったことに関し、何かと地区で、そういうものに対してやってきた中で、もし農薬をまけば薬が飛ぶよと。それでよかったら、転用も賛成するけれども、それでなければ賛成はできないというふうに、それはやはり周りの人ができる、できない、あと、できちゃってから市に押しかけるよりも、やはり周囲の人がそれを許して規定するのがいいじゃないかと私は思っております。</p>
<p>古谷（正）委員</p>	<p>以上です。</p> <p>だから、周囲の人ができるのであれば、それはすればいいんですけれども、そういうのはしづらいでしょうから、あえて言っているんであって、近ければ近いほど言いづらいことになりますので、そういう意味で言っているだけです。</p>

周東委員

私は米づくり農家だから余り関係ないんですけども、農業という大きな面で考えたときには、どうしても今、酪農、養豚、そのところが非常に苦労しているということを耳にしております。今度私も農業委員ということで、旧松尾町から山武市の方に出ることになっちゃいましたんで、農業委員という立場も考えたとき、少しはこういう意見も言わなければいけないのかなということで意見を言わせていただきました。

松尾のいろいろな話が出たけれども、どうして農業の話が出ないのかなって私は疑問に思っていたんです。駅のこともいいけれども、やはりそれよりは、松尾は何で生きているのかと聞いたら、前に農業だと支所長さんはおっしゃっていたけれども、やはり中心になるものが姿をあらわさないのは変だなと思っていたら、古谷さんの方から話が出た。

それで、この間、新聞を見たら、千葉ならば、そういう農業活性化と書いてある。これはお題目かもしれないけれども、松尾としても農業活性化もあっていいんだと思う。時代は、今、法人化されているし、土建屋をやめて百姓になってみたり、いろいろなのが出てきている。だから、そういうものはどこで……。我々の問題じゃないのかなと勝手に評価したんだけども。

どうですか、議長さん、いわゆるこういう農業の活性化という問題も取り上げるべきだと思うんだ。いいことがわからないけれども。

商業だって、商業の一番の活性化だって、何か後継者がいないというんだけども、結構若い人がいろいろなものを行っているんだよね。それから買いに来ないというんだけども、僕は買いに行っているんだよな、秋葉さんのところへ。やはり地元の人が買いに行かなければ、周りは成り立たないんだけども、松尾の商人さんは偉いだよな。売ってやるって感じだからお客はいなくなっちゃう。

そんなことないんだけども、やはりさっきの話じゃないところだけでも……。

僕はよそ者と呼ばれていたわけだ。よそから来たから。東京から来た。よそ者というのはなかなか難しいんだ。全然相手にしないんだ、田舎に限って。それで、東金の人によそ者が多いんだそうだ。よそから来る人が。山武も多いんだと思うけれども、そういう人はどういうふうに接しているんですかと聞いたわけ。そうしたら、やはりその人たちも一緒に仲良く同和しな

	<p>ければいけないと、一緒に行きましょうよと言って、話し合いを持って時間がかかると言っていました。だけれども、やはりよそ者扱いしたんじゃ具合悪いし、松尾町はそれは人口ふえたほうがいいんです。税金がふえるんだし、それから人口がふえるというのは何か理由があるんだから。やはりふやした方がいいんで。</p> <p>古谷さん、農業の活性化のことに對して我々も考えてもいいと思うんです。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、貴重なご意見ありがとうございます。 (発言する者多し)</p>
	<p>今、周東さんのご意見ですけれども、大変貴重なご意見だと思います。それを取り上げるべきじゃないかというご意見ですけれども、今日は大項目の3点について審議いただいたわけですので、また今後審議会が開かれていくと思いますので、そういう中でひとつまた議論いただきたいというふうに思いますので、その辺ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>古谷(正)委員</p>	<p>理解します。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>岩澤委員</p>	<p>岩澤委員さん、どうぞ。</p>
	<p>その他ということで、ちょっとお聞きしたいんですけれども、岩澤です。</p> <p>先ほど送迎バスの乗り合いルートが1月4日から運行されるということですが、ここに停留所というか、乗り合いの場所があるんですけれども、このほかに例えば地域の要望があった場合に乗り合い場所を設けていただけるとはでしょうか。運行上の時間の制約もあると思うんですけれども、これを利用する人は大体恐らく年寄り人が多いと思うんです。これちょっと見ると、区間が区ごとにないところがあるんですよ。この点どうでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>その問題、答弁できますか。</p>
<p>松尾支所長</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>じゃ支所長どうぞ。</p>
<p>松尾支所長</p>	<p>その件については即答できませんので、後ほど教習所の方から直接連絡させますので、よろしくお願いします。</p>
<p>岩澤委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>(発言する者多し) 岩澤委員さん、よろしいですか。</p>

会議の名称 第3回松尾地区地域審議会

開催日 平成18年11月16日

出欠席者名簿

松尾地区地域審議会委員

職名	氏名	出欠
会長	佐瀬 孝一	
副会長	奥田 政美	
委員	小川 一郎	
委員	小柳 昌	
委員	八角 衛	×
委員	花澤 健	×
委員	花澤 政芳	
委員	秋庭 啓子	
委員	岩澤 康幸	
委員	古谷 眞一	
委員	秋葉 利一	
委員	周東 慶幸	
委員	藤田 賢一	
委員	古谷 正三郎	
委員	渡邊 仁	

執行部・事務局

職名	氏名
松尾支所長	戸村 由紀夫
松尾支所総務課長	増田 博
松尾支所市民課長	篠原 米子
松尾支所経済環境課長	石橋 初雄
松尾支所都市建設課長	石橋 敬一郎
空港対策室長	秋葉 栄一
企画政策課副主査	越川 正
松尾支所総務係長	小川 恵計

出席 13名 欠席 2名